

4 「減災活動の日」の取組み

1 概要

阪神・淡路大震災から20年の節目を機に、毎月17日を「減災活動の日」として定め、ひょうご安全の日推進県民会議を中心に、県民・民間団体・事業者及び行政がこぞって家庭や地域、職場で実践的な減災活動に取り組んだ。

2 構成団体の取組み

ア 構成団体の取組み状況 ※個人を除く97団体の取組状況

(団体数)

①総会・大会等でのパンフレット配布、関係団体への周知、広報誌への掲載等	90
②防災・減災をテーマとする講演会・セミナー・研修会等の開催	32
③防災訓練、備蓄物資・警報装置等の点検等の実施	88
④ひょうご安全の日のつどいへの参加・出展	83
⑤その他防災・減災を進める取組みの実践	36

イ 主な取組み

○総会・大会等でのパンフレット配布等、関係団体への周知、広報誌への掲載等



兵庫県防災士会総会 (H26.5.25)



兵庫県商工会連合会総会 (H26.5.29)



県社協「ひょうごの福祉」(3月号)



「こんにちは県警です」(H26.5.24放送分)

○防災講演会・セミナー・研修会等の開催



「看護の日」イベント基調講演 (H26.5.11)



国際協同組合デー記念大会 (H26.7.4)



兵庫県薬剤師会研修会 (H26.7.13)



日本建築学会大会 (H26.9.12~13)



「安全で安心できる地域づくり～災害看護活動～」の取組み

((公社)兵庫県看護協会)

兵庫県看護協会は、阪神・淡路大震災においても看護ボランティアによる避難所・仮設住宅での訪問活動、災害復興公営住宅等での「まちの保健室」活動を実施してきた。また、東日本大震災でも被災地の看護協会の活動を支援している。

東日本大震災の支援活動

①まちの保健室開設活動支援

被災地の看護協会が「まちの保健室」を開設・運営できるよう支援(石巻市等18ヶ所)



②被災3県看護協会との情報交換・交流会

被災地の看護協会と災害時の活動や課題等についての情報交換、交流を深める



防災・減災に関する講演会の開催（平成26年度）

①看護の日イベント

- 〈実施時期〉5月11日(日)
- 〈参加人数〉385名
- 〈実施場所〉兵庫県看護協会ハーモニーホール他
- 〈実施内容〉
 - ・地域の中での減災教育に関する講演
(河田恵昭人と防災未来センター長)
 - ・高齢者疑似体験、非常食等の展示、健康相談等

②看護フェア

- 〈実施時期〉11月9日(日)
- 〈参加人数〉328名
- 〈実施場所〉兵庫県看護協会ハーモニーホール他
- 〈実施内容〉
 - ・地域で取り組む防災活動に関する講演
(小原真理子日本赤十字看護大学教授)
 - ・非常用トイレ、非常食等の展示

災害支援ナース育成・管理者研修

- 〈平成26年度末災害支援ナース登録者〉167名
- 〈災害支援ナースの育成研修〉
 - ・基礎編：7月10日(木)・11日(金) 受講者：77名
 - ・実践編：9月24日(水) 受講者80名
- 〈管理者研修〉
 - ・管理者が心得ておきたい「平時の災害への備え」
平成27年1月15日(木) 受講者90名
 - ・看護管理者が取り組む安全で安心な地域づくり
平成27年3月18日(水) 受講者34名



兵庫県共同組合連絡協議会(JCC)による「阪神淡路20年」の取組み

(県内の生協、農協、漁協、森林組合などからなる連絡協議会)

2012年の国連が定めた国際協同組合年に際して、ふれあいの祭典等県内のイベントで共同して参加。
同年11月に神戸で開催されたICA（国際共同組合同盟）アジア太平洋地域総会では、兵庫JCCが事務局を担当。「阪神淡路20年」の機会を捉え、改めて共同して啓発事業等を実施した。

第92回国際協同組合デー・兵庫県記念大会

- 〈実施時期〉7月4日(金)
- 〈実施場所〉兵庫県民会館けんみんホール
- 〈参加人数〉JCC関係者340名
- 〈実施内容〉
 - 講演 「阪神・淡路大震災から20年を迎えます
～あの日、放送し続けて～」
 - 講師 谷 五郎 ラジオ関西パーソナリティ



兵庫県生協連合会主催「災害対策委員会」

- 〈実施時期〉9月17日(水)
- 〈実施場所〉兵庫県民会館
- 〈参加人数〉購買生協、大学生協、医療生協等16名
- 〈実施内容〉
 - 学習会 「阪神・淡路大震災を振り返り、
今なすべきこと～防災は隣近所の助け合い～」
 - 講師 岸本 正 (特非)兵庫県防災士会理事



兵庫における ポスト国際協同組合年を考える集い

- 〈実施時期〉9月26日(金)
 〈実施場所〉賀川記念館、人と防災未来センター
 〈参加人数〉JCCの次世代職員34名
 〈実施内容〉
 ①講演 「阪神・淡路大震災の教訓を次なる備え」
 講師 村田昌彦 人と防災未来センター研究部長
 ②ワークショップ



兵庫県生協大会

- 〈実施時期〉10月9日(木)
 〈実施場所〉兵庫県民会館けんみんホール
 〈参加人数〉生協組合員等300名
 〈実施内容〉
 講演 「語り継ぎたい。命の尊さ」
 講師 住田功一 NHK大阪放送局アナウンサー



○防災訓練、備蓄物資・警報装置等の点検等の実施



兵庫県・阪神地区合同防災訓練 (H26.8.31)



広域防災センター実践デモ (H26.11.30)



高砂市立荒井中学校総合防災訓練 (H26.9.26)



神戸市立高取台中学校震災のつどい (H27.1.16)

〇ひょうご安全の日のつどいへの参加



県宅建協神戸東支部 炊き出しと防災啓発



県LPガス協会 ガス機器等説明

Topics トピックス 「そなえるってい〜な(17)!毎月17日を防災・減災活動の日に」の取組み (一社)神戸青年会議所

神戸青年会議所では、毎月17日を「防災・減災活動の日」として、市民や企業に災害への備えを呼びかけた。

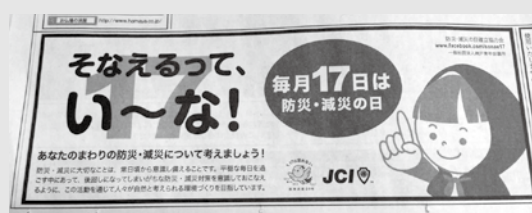
街頭啓発活動

〈実施時期〉4~12月の17日直前の日曜日
〈実施場所〉三宮センター街、元町商店街等
〈実施内容〉啓発グッズの配布



メディアを活用した情報発信

〈実施時期〉4~12月の毎月17日
〈実施内容〉
・ラジオ関西、サンテレビ等を通じた災害への備えのメッセージ
・神戸新聞地域版での減災活動の呼びかけ



「そなえるって、い〜な」～未来のまちを守るために～の開催

〈実施時期〉9月28日(日)
〈実施場所〉兵庫県農業会館他
〈実施内容〉

①フォーラム

「これからの防災・減災について～わたしたちにできること～」

- ・神戸青年会議所の取組報告
- ・河田恵昭人と防災未来センター長の基調講演

②防災体験事業

旧居留地内で防災ゲームや非常食試食等防災減災体験事業を実施。多くの市民の参加を得た。



○その他防災・減災を進める取組みの実践

- 日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会と兵庫県社会福祉協議会（ひょうごボランティアプラザ）との災害時連携協定の締結
- 近畿ブロック各府県中央会との災害時の中小企業支援に関する相互応援協定の締結
- 「災害ボランティア割引制度」の周知（ひょうごボランティアプラザ）
- 構成団体主催イベント参加者への減災キャンペーンパンフレット配布等
- ひょうご安全の日推進事業（共同事業、行政と民間の協働事業）の活用
- 報道各社による震災関連報道の実施 など

3 自主防災組織の防災訓練等の支援

地域の防災力を強化するため、(特非)兵庫県防災士会では会員の指導員（156名）に加え、地域防災リーダー（ひょうご防災リーダー講座OB）などの協力を得て、県内各地の自主防災組織の防災訓練の指導等を行った。

また、県・ひょうご安全の日推進県民会議においても、ひょうご防災特別推進員の派遣、ひょうご安全の日推進事業（実践活動事業助成）等を活用して自主防災組織の活動を支援し、併せて800ヶ所を超える自主防災組織等の防災・減災の取組みが行われた。

区 分	支援件数	(参考)小学校区数	主な取組
神 戸	134	167	AED講習、ジュニア防災リーダー講習、防コミ大会等
阪神南	105	90	津波避難訓練、親子防災教室、防災まち歩き等
阪神北	54	83	マンション防災訓練、防災マップづくり、避難所体験等
東播磨	89	75	地域と学校の防災訓練、幼稚園防災教室等
北播磨	92	59	自主防向けIT研修、豪雨時を想定した防災訓練等
中播磨	73	81	要援護者支援協議会防災訓練、防災イベント等
西播磨	52	67	土砂災害防災講義、地域ふれあいまつり防災訓練等
但 馬	93	64	水防訓練、自主防災組織交流大会、防災講演会等
丹 波	54	41	AED講習、防災訓練での啓発等
淡 路	66	47	全島一斉防災訓練、ぼうさい探検隊マップづくり等
計	812	774	

○防災訓練



円山川での水防訓練 (H26.6)



地域と学校の合同防災訓練
(H26.11加古川市内他)



津波想定住民避難訓練
(H27.1和田岬防災福祉コミュニティ他)

○防災講習・講義



教職員向け防災講習
(H26.8菅の台小学校他)



親子向け防災教室
(H26.11西宮市民生協他)



学校での防災講義
(H27.1甲子園浜小学校他)



子どもや親子を対象とした防災学習会の開催

((特非)兵庫県防災士会)

地域の防災リーダーとして活動している防災士会員は、普段は、地元の自主防災組織の防災訓練の指導等しているが、行政や市民生協等の依頼により、子どもや親子向けの防災学習会も実施した。

東播磨ジュニア防災スクール

〈実施時期〉7月26日(土)・27日(日)
〈実施場所〉明石市防災センター
〈参加人数〉約100名(各50名/日)
〈実施内容〉
消火体験・煙避難体験、地震体験、非常食試食等



福崎町子育て学習講座

〈実施時期〉10月2日(木)
〈実施場所〉福崎町文化センター小ホール
〈参加人数〉親子約30名
〈実施内容〉安全な乳児の抱き方、避難時の持出品等



高砂市立荒井中学校防災訓練

〈実施時期〉9月26日(金)
〈実施場所〉高砂市立荒井中学校
〈参加人数〉約600名
〈実施内容〉
土嚢作りやロープワーク、応急手当、避難所運営訓練等



パパ・ママとキッズを対象とした 遊んで学ぶ防災教室

〈実施時期〉1月24日(土)
〈実施場所〉伊丹市立中央公民館
〈参加人数〉親子30名
〈実施内容〉
非常持ち出しゲーム、ダンボール避難所体験等



○防災体験・ぼうさい教室



非常時持出品体験
(H26.8東川崎ジュニア防災リーダー研修他)



津波体験
(H26.10須磨区防災福祉コミュニティ大会)



新聞スリッパづくり等
(H26.10小野市防災フェスティバル他)



須磨区防災福祉コミュニティ大会の開催！

(須磨区防災福祉コミュニティ等連絡会議)

身近で起こる災害にあわてず対応できるよう、実践に即した訓練を実施し、住民による自主防災体制の充実と防災意識の向上を図った。

〈実施時期〉

10月26日(日)

〈実施場所〉

椿谷公園（神戸市須磨区横尾6丁目）

〈参加人数〉

須磨区防災福祉コミュニティ全21地区(約600名)、
須磨消防団（40名）

〈実施内容〉

①総合訓練

水消火器・バケツリレー、三角巾を使った救護、水難救助、避難場所への避難等

②水中歩行体験

ビニールプール内を長靴が水没した状態で歩行

③煙体験（煙テント）

煙が充満し視界不良のテント内を通り怖さを体験

④地震体験（地震体験車「ゆれるん」）

⑤防災資機材取扱体験

車椅子の取扱い、簡易担架、ロープの結び方等



(須磨消防署 写真提供)

○防災ワークショップ



防災マップづくり
(H26.5伊丹市稲野町自治会他)



防災まち歩き (H26.7相生小学校他)



「クロスロード」ゲーム
(H26.7西須磨「防災わくわくキャンプ」他)

○防災啓発



フェニックス共済との合同啓発
(H26.7西播磨県民局管内)



非常食等防災グッズの展示
(H27.2赤穂市内ふれあいまつり等)



模型を使った洪水実験
(H27.1神戸市出初式等)

○よろず防災相談室

空き店舗を活用して開設。防災士が常駐して防災展示の説明、防災相談に対応。

(阪神地区：H26.9.20～10.19園田阪急プラザ内、神戸地区：H27.1.10～2.11新長田アスタ1内)



空き店舗を活用した相談室



防災・減災に関する展示



防災士が常駐して対応